

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目名	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
1 基本財産運用益	4,008	4,000	8
2 事業収益	227,314,715	227,144,883	169,832
3 受取負担金等収益	0	0	0
4 雑収益	27,105	5,384	21,721
経常収益計	227,345,828	227,154,267	191,561
2 経常費用			
事業費	222,440,492	219,293,867	3,146,625
給料手当	34,780,727	33,999,510	781,217
法定福利費	10,644,150	10,473,540	170,610
臨時雇賃金	20,378,389	19,008,889	1,369,500
賞与引当金繰入額	3,263,857	0	3,263,857
旅費交通費	6,260	21,712	△ 15,452
通信運搬費	583,061	587,853	△ 4,792
消耗什器備品費	1,730,288	2,201,893	△ 471,605
消耗品費	2,452,868	3,328,004	△ 875,136
修繕料	7,437,369	6,938,010	499,359
印刷製本費	120,571	180,877	△ 60,306
燃料費	996,295	1,050,072	△ 53,777
光熱水費	20,216,299	22,214,974	△ 1,998,675
賃借料	8,573,891	8,571,123	2,768
保険料	1,012,320	1,024,220	△ 11,900
諸謝金	240,000	310,786	△ 70,786
支払手数料	626,722	631,769	△ 5,047
原材料費	1,382,835	1,586,104	△ 203,269
租税公課	7,470,400	5,291,200	2,179,200
負担金	10,030	36,530	△ 26,500
委託費	100,514,160	101,836,801	△ 1,322,641
管理費	1,468,240	1,160,594	307,646
役員報酬	613,600	462,000	151,600
給料手当	67,000	50,000	17,000
法定福利費	14,000	0	
旅費交通費	220	4,290	△ 4,070
通信運搬費	11,000	2,390	8,610
消耗品費	3,000	9,200	△ 6,200
光熱水費	6,000	0	
支払手数料	2,820	3,164	△ 344
保険料	230,400	215,150	15,250
交際費	1,240	2,000	△ 760
租税公課	20,000	20,000	0
委託費	498,960	392,400	106,560
経常費用計	223,908,732	220,454,461	3,454,271
当期経常増減額	3,437,096	6,699,806	△ 3,262,710

2 経常外増減の部			
1 経常外収益	0	0	0
2 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期経常増減額	3,437,096	6,699,806	△ 3,262,710
法人税等支出	110,800	133,000	△ 22,200
当期一般正味財産増減額	3,326,296	6,566,806	△ 3,240,510
一般正味財産期首残高	10,922,326	4,355,520	6,566,806
一般正味財産期末残高	14,248,622	10,922,326	3,326,296
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	4,008	4,000	8
一般正味財産への振替額	△ 4,008	△ 4,000	△ 8
指定正味財産期首残高	40,000,000	40,000,000	0
指定正味財産期末残高	40,000,000	40,000,000	0
III 正味財産期末残高	54,248,622	50,922,326	3,326,296

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金：

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

### 2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	40,000,000	0	0	40,000,000
合計	40,000,000	0	0	40,000,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(内指定正味財産からの充当額)	(内一般正味財産からの充当額)	(内負債に対応する額)
基本財産 定期預金	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—
合計	40,000,000	(40,000,000)	(0)	—

### 4. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	3,263,857	0	0	3,263,857
合計	0	3,263,857	0	0	3,263,857

#### 【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。